

日本景観生態学会 2023 年淡路大会 エクスカーション

日時:2023 年 5 月 28 日(日) 8:50 - 17:00

集合場所および時刻:淡路岩屋ポート 8:50 集合

淡路インターチェンジバス停 8:55 集合

解散場所および時刻:淡路インターチェンジ 16:50

岩屋ポート 17:00

岩屋ポート → 淡路 IC → 吹上浜(貸し切りバスで移動)

8:55            9:05        10:15

現地2:海浜の自然景観が残る吹上浜(南あわじ市) 1015-1215

砂丘・堤防を歩きます

概要:

吹上浜は淡路島南部にある海岸で、ここでは海岸砂丘と海崖の植生が現在もよく残されています。市民によるシロチドリ調査の対象地ともなっています。海浜の後背には水田がひろがっていますが、ここは昭和 30 年代までは砂丘の一部であり、砂丘後背湿地があったようです。その当時の砂丘と集落を隔てていた堤防(土塁)もまだ残されています。エクスカーションでは主に砂丘の植生を観察します。

各自持参の昼食 12:15-13:00

吹上浜 — 西淡三原 IC — 淡路 IC — 石の寝屋緑地駐車場(貸し切りバスで移動)

13:00

14:25着

現地1:県立あわじ石の寝屋緑地(水田ビオトープおよび再生中の放棄水田・淡路市) 1425-1635

園内を歩きます。長靴があれば湿田に入れます。

概要:

あわじ石の寝屋緑地は 2015 年に開園した県立の都市緑地です。約 40 年前に県が用地を取得するより前は、谷あいの湿田では稲作が行われていました。現在、園内ではかつての湿田を整備したビオトープ(いきものたんぼ)が 1ヶ所あり、一般に公開されています。これとは別に、放棄状態のまま放置されている湿田群が点在しています。放置された湿田のうち 1ヶ所について、2020 年以降、湿田を再生すべく、植生調査やササ刈りなどが行われています。エクスカーションでは、保全再生の途上にある湿田で、その景観と生物を観察します。

石の寝屋緑地 — 淡路 IC — 岩屋ポート(貸し切りバスで移動)

16:35

16:45着 16:55着